

東西宗教交流学会 第四回学術大会記録について

川村 永子

以下に記されている講演と討論は、「東西宗教交流学会」第四回学術大会の記録である。この学会の成立の由来や活動内容については、『大乘禅』七一―七二号（一九八三年2）、七二―七三号（一九八四年6）、七三―七四号（一九八五年4・5合併号）の各号に各大会の記録作成者によって詳しく報告されている。

今回の第四回学術大会は、一九八五年一月二四日、二五日の二日間、京都市内のパレスサイドホテルで開催された。二四日、二五日両日にわたる西谷啓治氏の二回の講演と、それを受けての二四日の討論Ⅰ（討論者・玉城康四郎氏）と二五日の討論Ⅱ（討論者・小野寺功氏）との会が持たれた。尚、当学会の司会はすべて、八木誠一氏が担当。また、二五日の午前中には会員総会が開かれ、各種の報告がなされると共に、幾つかの議事が承認された。

本誌は第四回学術大会（二日間）の記録である。この記録

作成は総会にて川村に委託された。川村は、二回の講演と討論時間にわたる討論Ⅰ、討論Ⅱのタイプから起こして頂いて、約二九〇枚の生原稿を約一八五枚に要約した。要約に際しては、内容的連関を重視し、講演、討論共にできるだけ各ご発言の主旨と全体の流れとを明確にしたいと努力したが、それは、容易ならぬことであった。文体を川村の責任において整えさせて頂いたところがあり、また全体との調和という意味で、割愛させて頂かなければならなかった部分もあった。更に、発言者のお名前の分からない部分は、失礼と存じながら、「質問」とのみ書かせて頂いた。必要最少限の補注も教簡所付け加えさせて頂いた。以上の意味において、以下の記録の文責は川村にある。講演の原稿は西谷啓治氏に眼を通して頂いたが、討論者と発言者の各氏にはそれをしていないので、ご容赦を希うと共に、記録された発言内容につき異議のある方は、ご教示下さることを冀う次第である。

本会合の出席者は左記の通りである。

西谷啓治（講演者）、秋月龍珉、石田慶和、モリス・オーガスチン、小野寺功（討論者）、玉城康四郎（討論者）、寺川俊昭、常盤義伸、土居真俊（会長）、ジェームズ・ハイジ

ック、坂東性純、藤吉慈海、兵藤正之助、八木誠一、八木洋一、藪本忠一、田中裕（総会前・オブザーバー、総会後・会員）、川村永子（総会前・オブザーバー、総会後・会員）、立花真紀（オブザーバー）、山下明子（オブザーバー）。

（以上出席者 二〇名）

秋月龍珉 著

「正法眼蔵」を読む

四六版 ¥一、二〇〇 文庫本 ¥四〇〇

「正法眼蔵」の奥義——「修証義」講話

四六版 ¥一、二〇〇

発行所 〒六〇一 京都市南区西九条北ノ内町一一

P H P 研究所出版部